

インテリアデザイン科

美術概論

対象	1年次	開講期	後期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2	
担当教員	角田 知義			実務経験	有	職種	クリエイティブディレクター					

授業概要

「アートとデザイン」の関係は、「サイエンスとテクノロジー」の関係に似ていると言われている。美術の全般的な知識を得る事で、デザインへの新たな視点を得る事を学習の目的とする。その為には必ず「美術がどの様な視点、観察眼」で作品を作り続けてきたのかという事を知る必要がある。美術作品を観察、読解、技法を理解することから「美しさの創造性」「表現の創造性」への理解を深める方法の取得を目的とする。

到達目標

世界四大文明が発祥した時点で美術は存在していた。我々が培つて来た文明の中で美術の存在とその役割を知ることは「表現」と「意味」の生成を知る事になり「文明、文化、歴史」への深い理解にも繋がっていく。歴史的な推移のなかで「社会、文化、産業、美術、デザイン」の関わりを西洋と日本からの2つの視点で見る事で「現代の美術とデザインの理解を深める」ことを目標とする。

授業方法

本授業は現代デザインが育ちはじめた19世紀からスタート。「印象派」、当時は革命的な出来事だったと私たちが常識として持っている、美術の基本的な概念「美しさ」や「美術らしさ」「見る事への探求心」「意味をかたちづくる」「造形する技術」等、美術とデザインが持つ同じ課題に対して、過去の著名な作家達がいかに「イノベーション」を起こし、新しい創造をしてきたかという事を事例を参照しながら学ぶ。

成績評価方法

最終レポート55% 学期末のレポート、課題を総合的に評価する。
中間レポート20% 宿題形式のレポート（2回）。
振り返りシート15% 毎時間、受講した授業内容を振り返りまとめ提出。
受講態度10% 出席状況、遅刻の有無、受講態度を評価。

履修上の注意

授業に集中してノートをとることが必要となる。各自の理解度の確認、講義内容に対しての質疑応答のため、毎時間「授業の振り返りシート」を記入、授業時間終了時に提出する。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は評価を受けることができない。

教科書教材

レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。

回数	授業計画
第1回	美術概論を学ぶ基礎①
第2回	美術概論を学ぶ基礎②
第3回	20世紀、抽象表現とデザイン①

第4回	20世紀、抽象表現とデザイン②
第5回	20世紀、抽象表現とデザイン③
第6回	20世紀、抽象表現とデザイン④
第7回	20世紀、抽象表現とデザイン⑤
第8回	20世紀、抽象表現とデザイン⑥
第9回	西洋美術史の基礎①
第10回	西洋美術史の基礎②
第11回	西洋美術史の基礎③
第12回	日本の美術の多様さ①
第13回	日本の美術の多様さ②
第14回	日本の美術の多様さ③
第15回	現代のアートを俯瞰する